

# News Release



## 志賀原子力発電所 S P D S 計算機の不具合に関する 調査結果について

平成12年1月2日  
北陸電力株式会社

当社志賀原子力発電所1号機において1月1日0時00分頃にS P D S 計算機のデータの送信が停止しました。

その後、処理するデータを1月1日0時00分以降のもののみとしたところ、14時頃からデータの表示が可能となり、データの取り込み及び表示が、問題なく継続し、他の計器と一致していることから、正常に表示していると17時に判断しました。(1月1日公表済)

原因調査の結果、本件の原因は、西暦2000年問題に起因するものであり、今後、同様な事象は発生しないと判明しました。

なお、現在S P D S 計算機は正常に表示しております。

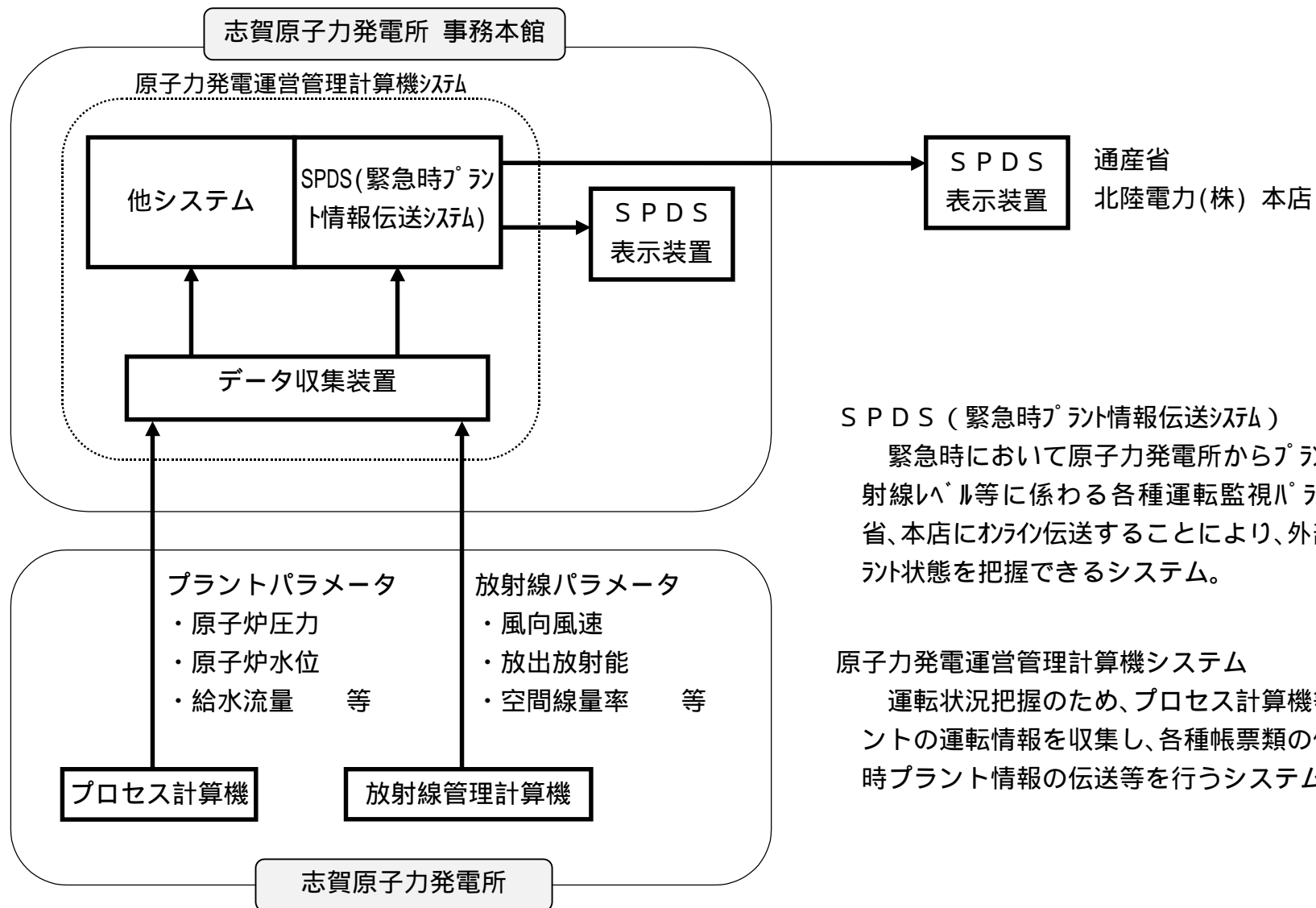
当社は、今後とも志賀原子力発電所について、安全を第一に運転して参ります。

以 上

## 志賀原子力発電所SPDS計算機のデータ送信停止の原因

- (1) SPDSのY2K対策の中では、SPDSに入力される年月日データは、西暦下2桁であるため、データ受信プログラムで4桁に変更する処理を行っている。
- (2) この処理では西暦下2桁が90以上の場合、上2桁に19を付加し1900年代とし、90未満であれば上2桁に20を付加し2000年代としている。
- (3) この判定は、原則としてデータ毎に実行するが、データとデータがごく短時間に連続して入力された場合は、処理速度を向上させるため、先に付加した上2桁を連続している後者のデータにも付加することになっている。
- (4) 今回、1月1日0時をまたぐ時点で、プロセス計算機からの2000年データと放射線管理計算機からの1999年データが連続してSPDSに入力されたため、放射線管理計算機からの1999年データを2099年と処理していたことが判明した。
- (5) このため、誤って処理された放射線管理計算機のデータを格納する場所の判定が不能となり処理が異常停止した。

# SPDS (緊急時プラント情報伝送システム)



## SPDS (緊急時プラント情報伝送システム)

緊急時において原子力発電所からプラント状態、放射線レベル等に係わる各種運転監視パラメータを通産省、本店にオンライン伝送することにより、外部からもプラント状態を把握できるシステム。

## 原子力発電運営管理計算機システム

運転状況把握のため、プロセス計算機等からプラントの運転情報を収集し、各種帳票類の作成や緊急時プラント情報の伝送等を行うシステム。